

普及活動情勢報告（令和8年4月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

ユズのせん定をしよう ～JA高知県津野山ゆず部会せん定講習会～



ユズのせん定を説明する
普及指導員

3月16日、27日の2日間、JA高知県高西宮農経済センター津野山ゆず部会のせん定講習会が3か所で開催され、のべ36人が参加しました。

農業改良普及課は、せん定の必要性和稔年の対策として葉を多く残す軽めのせん定のポイントなどを説明しました。

参加者からは、切る枝の選び方や切る位置の決め方、葉の無い枝の処理等の質問がありました。

農業改良普及課は今後も、JAと協力して津野山地域のユズの生産力向上に取り組んでいきます。

農地を守る仕組みを考えよう！ ～梶原町合同意見交換会～



参加者の意見を整理する
普及指導員

3月19日、梶原町で関係機関とともに、越知面・東区の合同意見交換会を開催し、16人が参加しました。

農業改良普及課は、参加者とともに農地の現状と5～10年後に農地を守るかを確認していきました。また、農地を守るのが難しい場合には、ユズ等を新植する、耕作条件を改善する、といった方策を例示しながらファシリテートしていきました。

参加者からは様々な意見が飛び交い、「耕作するのが限界になっているので行政が守るべき」「ユズ作業受託の組織は必要」といった声があがりました。

農業改良普及課は今後も、関係機関とともに農地を守る仕組みの構築に向け、協議を進めていきます。

栽培管理に環境データを活用しましょう ～JA土佐くろしおきゅうり部会現地検討会～



環境データを活用した栽培管理について説明する普及職員

3月25、26日の2日間、須崎市の生産者ほ場において、JA土佐くろしおきゅうり部会の現地検討会が開催され、のべ4人が参加しました。

農業改良普及課は、園主ほ場の直近1週間の環境データを基に、光合成速度や病害リスクを見える化し、日中の高温乾燥や曇雨天日の結露を抑制する管理について説明しました。

参加者からは、「高温になりすぎないように早めに換気をする」「天窗やサイドの換気を工夫して、結露の発生に気をつける」との声が聞かれました。

農業改良普及課は今後も、キュウリの収量・品質向上に向けて、栽培管理における環境データの活用を支援していきます。

梶原町での就農に向けて ～経営計画作成支援～



経営計画について説明する
普及指導員

3月30日、梶原町役場で就農希望者1人と2回目の就農相談を行いました。就農希望者は現在の雇用主からハウスや機械を譲り受け、雨よけピーマンで就農して認定新規就農者になることを目指しています。

農業改良普及課からは、5カ年計画を作成するため、譲渡予定の機械の種類や価格について、現雇用主と話し合うよう提案しました。

就農希望者からは、「忙しい時期は雇用を3人検討している」「被覆を更新する場合の計画も作りたい」等の意見がありました。農業改良普及課は今後も、継続して就農相談を行い、経営計画作成の支援をしていきます。

黄化えそ病対策を確認しましょう ～JA土佐くろしおきゅうり部会目慣らし会～



黄化えそ病対策について
説明する普及職員

3月30日、JA土佐くろしお浦ノ内出荷場、大間出荷場および久礼出荷場において、きゅうり部会の目慣らし会が開催され、のべ23人が参加しました。

農業改良普及課は、管内の野外におけるミナミキイロアザミウマの発生状況を説明し、サイド換気開始前のハウス周辺の除草、作終了後の蒸し込み処理を徹底するように呼びかけました。

参加者からは、「ミナミキイロアザミウマが増えていることが理解できた」「ハウス周辺を除草する」との声が聞かれました。

農業改良普及課は今後も、関係機関と連携して黄化えそ病の撲滅に向けた防除対策を指導していきます。

次世代農業者に農業の魅力を ～梶原高校での出前授業事前打合せ会～



関係機関と協議を行う
普及指導員

4月6日、津野山地域営農連絡協議会が県立梶原高校での出前授業開催に向けた事前打合せを開催し、梶原町、津野町、JA、梶原高校、農業改良普及課の関係者15人が参加しました。

農業改良普及課からは、令和7年度のアンケート集計を提示し、令和8年度は12講座のプログラムを提案しました。

関係機関からは、「生徒の意向も反映しながら授業を展開してはどうか」「現地での体験実習時のバス配車優先順位」など、確認事項について協議しました。

農業改良普及課は今後も、若き担い手候補者へ農業の魅力発信の活動を支援していきます。